

第15回 Working Party 5A会合 報告書（案）

1 WP5A

WP5AはIMTを除く陸上移動業務、一部の固定業務（FWA：Fixed Wireless Access）、アマチュア業務、アマチュア衛星業務を扱っている。

1.1 会合の概要

第15回WP5A会合は、2015年7月6日から16日までの11日間、ルーマニア国ブカレスト市において開催された。本会議には29カ国から146名が参加し、日本からは別紙のとおり21名が出席した。本会合には、100件の寄与文書（日本からの寄与文書9件）が入力された。議長はJose Costa(カナダ)が担当し、表1のとおりWorking Partyのもとに5つのWG(Working Group)、2つのDG(Drafting Group)及び3つのSWG(Sub Working Group)を設置し、検討が行われた。

結果として、新勧告案1件、改訂勧告案1件、新報告案2件、改訂報告案2件、削除報告案1件、新研究課題1件、改訂研究課題14件の文書が承認され、本年7月20日から21日に開催される第10回SG5会合へ上程された。また、他グループへのリエゾン文書は、ITU-R内の他グループへ9件、ITU-TまたはITU-Dへ2件、他の標準化機関等へ2件送付した。

表1 WP5Aの審議体制

	担務内容	議長
WP5A		Jose Costa (カナダ)
WG1	Amateur services	Dale Hughes (オーストラリア)
WG2	Systems and standards	Lang Baozhen (中国)
DG 5A-2-1	Local coverage	吉野 仁 (日本)
WG3	PPDR	Amy Sanders (米国)
SWG 5A-3-1	PPDR Reports	Andy Gowans (英)
SWG 5A-3-2	PPDR Recs. M.2009 and M.2015	Stuart Shepard (豪)
WG4	Interference and sharing	Michael Kraemmer (ドイツ)
WG5	New technologies	吉野 仁 (日本)
SWG 5A-5-1	Intelligent Transport Systems(ITS)	小山 敏 (日本)
DG5A5-1-1	Rail Link	辻 宏之 (日本)

2 主要結果

【WG1（アマチュア業務）】

- (1) 勧告 ITU-R M.1544 の改訂作業が完了し、SG5 に上程された。
- (2) ITU-R Question 48 の改訂作業が完了し、SG5 に上程された。
- (3) 勧告 ITU-R M.1732 の改訂作業を引き続き行うこと。

【WG2（システムと標準）】

- (1) ローカルカバレッジ（LC：Local Coverage）関連
6GHz 以下における「広帯域移動システムの Local Coverage 展開の運用ガイドライン」に関する新報告草案へ向けた作業文書 M.[Local Coverage]の更新作業が行われ、暫定新報告案として承認され、SG5 会合に上程することになった。次なる勧告作成へ向けた議論は次回会合にて継続することになった。
- (2) M.2014 関連
M.2014-2 (Digital land mobile systems for dispatch traffic) に関する改訂報告の提案は、Chairman's Report に添付され次回会合に carry forward された。同時に外部団体へのリエゾン送付も承認された。ITU-R の刊行物 Land Mobile Handbook Volume3 は M.2014 の内容が記述されており、M.2014 改訂後にハンドブックの改訂作業を実施することも合意された。

【WG3（PPDR）】

- (1) DRAFT NEW REPORT ITU-R. M.[PPDR]の改訂作業が完了し、SG5 に上程された。
- (2) 次の研究会期での PPDR の周波数配置に関する勧告 M.2015 の改訂に関する議論を行った。

【WG4（干渉と共用）】

- (1) 研究課題 1-5/5 及び 242-1/5 の 2 件の改定を行い、SG5 に上程した。
- (2) 5GHz 帯 RLAN と他の業務との共用検討のための技術情報文書と新レポート草案 ITU-R M.[RLAN MITIGATION]の作成作業を引き続き行うこと。
- (3) WP4A からの新勧告草案 ITU-R SF.[INTERF.AREA]に向けた作業文書に関してリエゾン文書を送付した。

【WG5（新技術）】

- (1) 車車間通信及び路車間通信に関する新勧告草案ITU-R M.[V2X] 作業文書は、日本等からの入力文書が反映された後、新勧告案がWP5A プレナリーで承認されSG5へ上程された。
- (2) 高度ITS無線通信システムの報告ITU-R M.2228改訂草案は、日本等からの入力文書が反映された後、WP5A プレナリーで承認されSG5へ上程された。
- (3) 日本寄書に基づき、275-1000 GHz帯における陸上移動通信業務の技術上運用上の特性に関する新研究課題案を作成承認し、SG5へ上程した。
- (4) 陸上移動業務におけるコグニティブ無線に関する研究課題ITU-R 241-2/5の改訂を行い、WP5A プレナリーで承認されSG5へ上程された。
- (5) ITS利用状況の調査レポートに関する新報告草案ITU-R M.[ITS USAGE]作業文書については、日本からの入力文書が反映され、引き続き次会合で、検討が継続されることとなった。
- (6) 列車との公衆移動通信システムに関する新報告草案ITU-R M.[RAIL LINK]作業文書は日本からの入力文書が反映され、引き続き次会合で検討が継続されることとなった。

3 各WG等における審議内容

3.1 WG1 (アマチュア業務)

【入力文書】

5A/640(WP5B), 689(米), 694(豪), 720(IARU), 721(IARU), 722(IARU)

【出力文書】

5A/TEMP/292, 293, 294, 295, 296, 297

【出席者】

オーストラリア (議長)、米国、オランダ、ガーナ、ルーマニア、日本 (圓谷、山本 (勝))
等最大 8 名

【審議概要】

- ・勧告ITU-R M.1544及び勧告ITU-R M.1732の改訂提案を審議し、M.1544については改訂を完了し、SG 5に上程した。また、M.1732についてはさらに検討が必要として次回会合に持越すとともに、関連するWPに検討状況を通知するリエゾン文書を送出した。
- ・ITU-R研究課題48及びITU-R研究課題209の改訂案を審議し、研究課題48については改訂を完了し、SG5に上程した。また、研究課題209についてはWG1及びWG3で審議し、改訂を完了してSG5に上程した。

3.1.1 勧告ITU-R M.1544「アマチュア無線従事者の最小資格要件」改定案の検討

【入力文書】

5A/689(米), 720(IARU)

【出力文書】

5A/TEMP/297

【審議概要】

- ・米国の入力文書を基にIARUの提案を加味して改定案の審議を行い、必要な知識として運用手順を加えたほか、表現の修正を行い、研究期間を2019年までとして完成させた改定案をSG5に上程した。

3.1.2 勧告ITU-R M.1732「共用研究で用いられるアマチュア及びアマチュア衛星業務で運用するシステム」改定案の検討

【入力文書】

5A/694(豪)

【出力文書】

5A/TEMP/294, 296

【審議概要】

- ・オーストラリアの入力文書を基に改定案の審議を行い、現状に即した表現や数値に修正するとともに、137 kHz帯および477 kHz帯の特性を追記したが、さらに検討が必要として次回会合に持越すとともに、関連するWP(4A, 4C, 5B, 5C, 5D, 7B, 7D)に検討状況を通知するリエゾン文書を送出した。

3.1.3 ITU-R Question 48「アマチュア及びアマチュア衛星業務の技術と周波数利用」改定案の検討

【入力文書】

5A/721(IARU)

【出力文書】

5A/TEMP/295

【審議概要】

- ・IARUの入力文書を基に改定案の審議を行い、研究課題として伝搬現象とスペクトラム節減技術を加え、研究期間を2019年までとして改訂を完了し、SG5に上程した。

3.1.4 勧告ITU-R M.1732「共用研究で用いられるアマチュア及びアマチュア衛星業務で運用するシステムの特性」改定案の検討

【入力文書】

5A/722(IARU)

【出力文書】

5A/TEMP/292

【審議概要】

- ・ IARUの入力文書を基に改定案の審議を行い、参照文書等の更新を行った後、WG3に送付した。WG3での審議を経て、改定案はSG5に上程された。

3.1.5 WP 5Bリエゾン文書「モールス符号による海洋レーダーの識別」の検討

【入力文書】

5A/640(WP 5B)

【出力文書】

なし

【審議概要】

- ・ 第13回会合で、WP 5Bに送付したリエゾン文書への感謝と、その後の検討結果を報告する文書であり、ノートした。

3.2 WG2（システムと標準）

【入力文書】

Broadband Wireless Access	642 (WP5C), 646 (ITU-T SG 15), 651 (WP5D), 664 (WP3K) 673,674 (WP1B)
Local Coverage aspects	614 636 Annex 5 (WP5A), 665 (CG on Rep. Local Coverage), 686 (中国), 702 (カナダ), 705, 706 (日本)
Hearing aids and related	650 (ITU-D SG 1 Rapporteur), 658 (SG 5)
ANTs	647, 648 (ITU-T SG15)
Out-of-band-emissions	654 (WP5D), 670 (WP1A)
Smart Grid	683 (WP1A)
M.2014	707 (Japan)
Vocabulary	729 (CCV)

【出力文書】

Broadband Wireless Access	5A/TEMP/301 (WP1B へのリエゾン文書)
Local Coverage aspects	5A/TEMP/314 (新報告草案 M.[Local Coverage])
ANTs	5A/TEMP/300 (ITU-T SG 15 へのリエゾン文書)
Out-of-band-emissions	5A/TEMP/302 (WP1A へのリエゾン文書)
M.2014	5A/TEMP/303 (外部団体 (BWA、PPDR) へのリエゾン文書)
	5A/TEMP/305 (暫定改訂報告草案 M.2014-2 作業文書)
Vocabulary	5A/TEMP/304 (CCV へのリエゾン文書)

【出席者】

Lang Baozhen (議長・中国)、Jose Costa (カナダ)、Dante Ibarra、Charles Glass、Amy Sanders (米国)、Gabrielle Owen (オランダ)、Xiano Li (中国)、Michael Krämer (ドイツ)、Jim Ragsdale (Ericsson)、Brian Copsey (ETSI)、Jayne Stancavage (Intel)、圓谷、今田、植田、大原、大村、大槻、小川、出浦、山崎、山本、吉野、渡川 (日本) などの計約 30 名

【審議概要】

- ・ WG2は、「無線システムと標準」について審議するWGである。本WGは今会合中に3回開催

され、22件の入力文書を審議し、7件の出力文書を作成した。

- ・ Local Coverageについては、Drafting Group (DG) を設置し、吉野仁氏（日本/ソフトバンク）が議長を務めた。その他については、WG2で直接審議した。
- ・ WG2では、5A/ADM/29の入力文書割当てに沿い、主に以下の5項目について審議を行った。
 - ① Broadband Wireless Access
WP1Bからの周波数の共用利用に関する新報告草案SM.[INNOVATIVE REGULATORY TOOLS])作業文書に関するリエゾンへの対応を審議し、作業文書をレビューし、リエゾン文書を送付することになった。
 - ② Local Coverage
運用ガイドラインに関する新報告草案作業文書を審議し、新報告案M.[LOCAL COVERAGE]の完成を目指したドラフティング作業を行い、暫定新報告案として承認され、SG5会合に上程することになった。次なる勧告作成へ向けた議論は次回会合にて継続することになった。
 - ③ Hearing aids and related
SG5 から、聴覚障害者のための無線通信システムに関する勧告 M.1076 の改訂案が採択・承認されことの情報提供があった。
 - ④ ANTs
アクセスネットワークトランスポート（ANT）の標準概要及び作業計画のアップデートに関する寄書へのリエゾン文書を送付することになった。
 - ⑤ Out-of-band-emission
WP1Aにおいて、帯域外領域（OOB）とスプリアス領域の境界や不要発射の制限値の見直し等についての新報告草案 ITU-R SM.[CHAR-UNWANTED]に向けた作業文書の検討に関する寄書へのリエゾン文書を送付することになった。
 - ⑥ Smart Grid
WP 1Aにおいて、公共料金管理システムへのスマートグリッドの使用について記載されている新レポートITU-R SM.2351-0として承認されたことの情報提供があった。
 - ⑦ M.2014
M.2014-2に向けた改訂案(#707)として、日本寄書をベースに作業文書が作成され、次回へCarry forwardされた。同時に関連団体へリエゾン文書も作成された。M.2014の本改訂に伴う2005年に改訂されたLand Mobile Handbook Volume3の変更も行うことにした。
 - ⑧ Vocabulary
CCVから2014年6月に報告M.1797（陸上移動業務の用語）についてITUのデータベースに追加を要請に対するリエゾン文書を送付することになった。

3.2.1 Broadband Wireless Access 関連の入力文書の審議

【入力文書】

642 (WP5C), 646 (ITU-T SG15), 651 (WP5D), 664 (WP3K), 673,674 (WP1B)

【出力文書】

5A/TEMP/301（WP1B へのリエゾン文書）

【審議概要】

- ・ 642 (WP 5C)は、WP5C から ITU-T SG15、ITU-R WP5D、MEF から受領したリエゾンに対して、WP5C で作成している新報告案 ITU-R F.[FS.IMT/BB]に向けた作業文書を更新したことのお知らせ、等のリエゾン文書であり、WP5A にとっては情報提供が主な内容である。
- ・ Costa氏（カナダ）から情報提供の寄書であるとの説明があり、コメントなしでノートされた。
- ・ 646 (ITU-T SG15))は、狭帯域無線トランシーバ標準に関する改訂勧告 ITU-T G.9959 について、ITU-T SG15 から WP5A 及び WP5D への情報提供のリエゾン文書であり、WP5A 及

び WP5D の助言により G.9959 から物理レイヤの削除を検討しているとのこと。

- ・議長から情報提供の寄書であることの説明があり、コメントなしでノートされた。
 - ・ 651(WP5D)は、WP5D が地上 IMT で提供するオーディオ・ビジュアル機能とアプリケーションに関する新報告案 ITU-R M.[IMT AV] (Interactive unicast and multicast audio-visual capabilities and applications provided over terrestrial International Mobile Telecommunication (IMT) systems)を作成したことを周知するリエゾン文書である。
Costa氏から情報提供であるとの説明があり、コメントなくノートされた。
 - ・ 664 (WP3K)は、欧州連合(European Union)より WP 3K に対して、5 GHz 帯の顧客とプロバイダのアクセスポイントにおける無線 LAN(802.11ac)の放射パターンの測定結果についての入力(Doc.3K/155)があったことの報告である。7 つの異なるアクセスポイントの放射電力が測定され、三次元 e.i.r.p.パターン（方位角：0° ~360°、仰角：-90° ~+90°）が示された。
WP3Kから出席したBelen氏から詳細な報告があり、情報提供として、コメントなくノートされた。
 - ・ 673 (WP1B)は、狭帯域無線ホームネットワーク受信機、コンポーネントに関する周波数の仕様に関する新勧告案 ITU-R SM.[G.WNB-FREQ]について、WP 1 B から ITU-T SG15 への回答リエゾン文書であり、WP5A 及び WP5D にはコピー送付である。
議長から情報提供であるとの説明があり、リプライは行わないことが合意された。
 - ・ 674 (WP1B)は、周波数の高度な共用をサポートする革新的な規制ツールに関する新レポート案 ITU-R SM.[INNOVATIVE REGULATORY TOOLS]の作業文書について、WP1B から WP5A 及び WP5D へのリエゾン文書である。国内周波数管理の代替的方法であり、各国の経験で有効な実践が含まれているレポートである。WP1B は、WP5A 及び WP5D に作業項目で関係するところがあるので、両 WP との協調が検討を促進するとの意見である。
議長から WP5A での検討事項があるとの指摘があり、Costa 氏から sharing infrastructure の情報提供と suggestion のリエゾン文書を作成するとの補足があった。Costa 氏から、TEMP5A/301 の WP1B へリエゾン文書案について、報告案に infrastructure sharing を含むのであれば、報告案のタイトルが「周波数の高度共有利用(enhanced shared use of the spectrum)」のみを扱う印象を与えるので修正すること及び関連する全ての SG 及び WP と報告案を共有することを助言すること、また WP5A は陸上移動ハンドブック、特に Vol.5 で新興国の「ブロードバンド無線アクセス」の導入計画等を作成しており、有用な情報であることを記載したとの説明があり、コメントなく承認された。

3.2.2 Local Coverage における運用指針に関する作業文書の審議

【入力文書】

614 (日本), 636 Annex 5 (WP5A), 665 (CG on Rep. Local Coverage), 686 (中国), 702 (加国), 705 (日本), 706 (日本)

【出力文書】

5A/TEMP/314 (新報告案 M.[Local Coverage]), 5A/TEMP/321R1 (議長報告エレメント)

【審議概要】

- ・ 614 (日本)は、前回会合で先送りされた、新勧告案作成へ向けた研究を開始する提案文書である。
- ・ 636 Annex 5 (WP5A)は、前回会合で作成された新報告草案の作業文書である。
- ・ 665 (CG on Re. Local Coverage) は、Correspondence Group (CG: Convener今田諭志氏 (KDDI))において審議された作業文書M.[Local Coverage]の報告文書である。
- ・ 686 (中国)は、前回会合で更新した作業文書(636 Annex 5)の4節(Local Coverageのための周波数運用)に関して、容量拡張のため免許帯と免許不要帯の両方で運用する無線インタフェースを想定した運用シナリオの追加、および非同期TDDシステムやTDDとFDDシステムの混在環境での同一チャネル干渉の考慮の追加を提案したものである。
- ・ 702 (加国)は、CGからの入力文書 (665) に対し主に用語の使い方に関する修正のうえ新報告案をSG5へ上程することを提案したものである。
- ・ 705 (日本)は、CG活動の結果更新された作業文書について、完成度が十分高まったことより、

新報告案とすることを提案し、さらにSG5へ上程することを提案したものである。

- ・706 (日本)は、Local Coverageに関する新報告案の最終化を前提に、6GHz帯以下における広帯域無線アクセスシステムのLocal Coverage運用に関する新勧告案作成のための研究を開始することを提案したものである。
- ・吉野仁氏 (日本) を議長とするDGを設置し、CGからの入力文書 (665)、中国寄書 (686)、加国寄書 (702)、日本寄書 (705) に基づき新報告案M.[LOCAL COVERAGE]の完成を目指したドラフティング作業を行い、暫定新報告案(5A/TEMP/314)として承認され、SG5会合に上程することになった。さらに日本寄書 (706) に基づき次なる勧告作成へ向けた議論を開始し、次回会合にて議論を継続することになった。
- ・**新報告案**：中国寄書 (686) 提案の新たな運用シナリオの追加に日本が反対し、代替案として運用シナリオの発展にてLicensed bandとLicense-exempt bandの組み合わせが考えられる旨が本文に追記された。また、運用の機能要件の解析について、Advanced spectrum usageとして、Licensed bandとLicense-exempt bandの組み合わせの場合に、取得される技術情報をネットワーク間で活用できる旨が追記された。
- ・さらに、技術条件の判定フロー図において、中国より、同一RATの異なるフレーム構成で運用されるTDDシステム間はガードバンドが必要なことを反映すべきとの意見が述べられた。中国、エリクソン、日本とのオフラインでの調整の結果、図の修正は行わず、「本図では異なるフレーム構成のTDDシステムのRAT同士は異なるRATとみなす」との注釈を付けることで合意された。
- ・米国より、「Requirements」に関わる用語の修正を始め、新報告案としての完成度を向上するための修正コメントが示され反映された。主に、「Requirements」に関わる用語について見直しが行われた。まず、Technical capabilityを修飾する "required"の使用を米国が反対し、「required」が削除された。加えてrequired functionsの表現は全てfunctional requirementsに統一された。さらに既存の無線インタフェース勧告への影響を懸念する米国により、「本報告は機能要件をサポートするために勧告ITU-R M.1801を修正することは意図しない」との脚注が追記された。
- ・**次なる勧告へ向けた議論**：新勧告へ向けた研究について、日本寄書(5A/706)に基づき審議を行い、次回会合にて勧告の必要性を引き続き議論することが合意された。具体的には新勧告の必要性を判断するために下記3項目を明確にすべきとされた。
 - 1) 報告書に記載された指針以上の勧告すべき追加要素の特定、および勧告すべき理由
 - 2) ITU-R 勧告として勧告すべき項目：技術的事項(例:無線インタフェース仕様、業務運用要件、共用/共存特性)、または法規制事項
 - 3) 勧告のスコープ、構成および研究項目

3.2.3 Hearing aids and related(聴覚障がい者のためのワイヤレスシステム)に関する入力寄書の審議

【入力文書】

650 (ITU-D SG 1 Rapporteur), 658 (SG 5)

【出力文書】

なし

【審議概要】

・650 (ITU-D SG 1 Rapporteur)は、ITU-D SG1 Question 7/1 (Access to telecommunication/ICT services by persons with disabilities and with specific needs)のラポータから、研究課題 ITU-R 254/5 “Operation of short-range radiocommunication public access system supporting hearing aid systems.”に関するWP5Dの活動に関する感謝を伝えるもので、コメントなく情報としてノートされた。

・658 (SG 5)は、SG5からの通知文書で、聴覚障害者のための無線通信システムに関する勧告 M.1076 の改訂案がSG5で採択・承認され、本件関連の検討はPP-14の決議175 (障害者のためのICTのアクセシビリティ)のもと続けられる旨をBR局長に通知するものである。コメントなく情報としてノートされた。

3.2.4 ANTs (Access Network Technologies : アクセスネットワーク技術)に関する入力寄書の

審議

【入力文書】

647, 648 (ITU-T SG15)

【出力文書】

5A/TEMP/300 (ITU-T SG 15 へのリエゾン文書)

【審議概要】

・647(ITU-T SG15)は、アクセスネットワークトランスポート (ANT) の標準概要及び作業計画の新版に関する ITU-T SG15 からのリエゾン文書で ITU-R SG5 に対しコメントの要請である。特に 5.2 章の仕掛中の関連する標準活動リストに注意を払って欲しいとの内容である。議長から説明があり、また Costa 氏からリエゾンのドラフトを準備するためのボランティアを募集し、メールでコメントを出すことになった。

・648 (ITU-T SG15)は、アクセスネットワークトランスポート (ANT) の標準概要と作業計画の新版に関する ITU-T SG15 からのリエゾン文書で ITU-R SG5 への情報提供である。第 13 回 WP5A 会合 (2014 年 5 月) において ITU-T SG15 に送付した TEMP/227 で指摘した事項の反映の件である。議長から説明があり、コメントなくノートされた。

・議長から 5A/TEMP/300 の ITU-T SG15 へのリエゾン文書案について、5A/647 及び 5A/648 の両寄書をレビューしたが現時点でアップデートはないことを回答する内容であるとの説明があり、コメントなく了承された。

3.2.5 Out-of-band- emission (不要輻射)について

【入力文書】

654 (WP5D), 670 (WP1A)

【出力文書】

5A/TEMP/302 (WP1A へのリエゾン文書)

【審議概要】

・654 (WP5D)は、WP1A に対し、WP5D で作成している帯域外発射に関する勧告の情報を提供するリエゾン文書である。

議長から、情報提供であるとの説明があり、コメントなくノートされた。

・670 (WP1A)は、WP1A において、帯域外領域 (OOB) とスプリアス領域の境界や不要発射の制限値の見直し等についての新報告草案 ITU-R SM.[CHAR-UNWANTED]に向けた作業文書についての検討が行われており、前回 WP4C 会合においては、各主管庁に対して WP1A での検討に必要な情報を直接 WP 1A に入力することを要請したことを知らせるリエゾン文書を発出していた。本リエゾン文書は、WP1A においてこの検討が引き続き行われる予定であり、関連する情報があれば受け付ける旨を知らせる文書である。

・議長から情報提供であり、コメントがあればリエゾン文書を作成するとの方針が示された。これに対し、米国から回答リエゾンを検討するとの発言があった。

・議長から、5A/TEMP/302 について、WP1A による研究目的等の明確化や少ないサンプルから全てのシステムに関する特性とすべきではないことを考慮するよう要請する内容であるとの説明があり、特にコメントなく承認された。

3.2.6 Smart Grid (スマートグリッド)について

【入力文書】

683 (WP1A)

【出力文書】

5A/TEMP/302 (WP1A へのリエゾン文書)

【審議概要】

・683 (WP1A)は、2015 年 6 月の WP 1A 会合において作成された、公共料金管理システムへのスマートグリッドの使用について記載されている新レポート案が、レポート ITU-R SM.2351-0 として承認されたことを外部標準化団体に周知するためのリエゾン文書である。WP 1A は本レポートのさらなる改定に向けて、外部標準化団体の追加コメントを期待してい

る。

・議長から情報提供であるとの説明があり、コメントなくノートされた。

3.2.7 M.2014 (デジタル陸上移動システム)の改訂に関する入力寄書の審議

【入力文書】

707 (日本)

【出力文書】

5A/TEMP/305 (M.2014-2 の改定作業文書)

5A/TEMP/303 (外部団体 (BWA、PPDR) へのリエゾン文書)

【審議概要】

- ・707 (日本)は、通常WG3で審議される内容だが、初日のプレナリーにおいてWP5A議長からの提案でWG2での審議として承認された。
- ・審議の結果、追加コメントもなく日本寄書をほぼそのまま反映した改定報告案M.2014-2の作業文書であるTEMP5A/305が作成されWP 5A Chairman's reportに添付し、次回WP5Aにcarry forwardされた。
- ・同作業文書関連のリエゾン文書として、TEMP5A/303が承認され、次回2016年5月のWP5Aにて外部からの追加があればそれを合わせて審議することになった。
- ・更に、2005年改定のままとなっているLand Mobile Handbook Volume3の改定に関しても次回の議題とされた。この改定作業もWG3の割当になっていたが、M.2014-2改定と合わせた形でWG2の担当に割当てされた。

3.2.8 Vocabulary に関する入力寄書の審議

【入力文書】

729 (CCV)

【出力文書】

5A/TEMP/304 (CCV へのリエゾン文書)

【審議概要】

- ・729 (CCV)は、WP5A から 2014 年 6 月に報告 M.1797 (陸上移動業務の用語) について ITU のデータベースに追加を要請するリエゾン文書を CCV へ送付したところ、CCV からいくつかの用語について明確化を求められた。
- ・WP5A 議長から、WP5A でチェックしたい項目があるので、コメントのリエゾンを作成するとの説明があり合意された。
- ・議長から、5A/TEMP/304 について、ATTACHMENT に M.1797 の最新情報を添付して CCV に送付し用語データベースを更新するとの説明があり、コメントなく承認された。

3.3 WG3 (PPDR)

【入力文書】

PPDR General

662 (APT); 722-Mobile (IARU)

636 Annex 6 (WP 5A); 684R1 (China); 690 (Australia, Canada, UK/CEPT, USA);

Draft new Rep. ITU-R
M.[PPDR] & Supp. Of M.2033

691 (UK); 695, 696 (Australia); 699 (Canada); 713 (Motorola Solutions); 714 (Korea); 719 (Israel); 723 (India)

Update of Rec. ITU-R M.2015

636 Annex 7 (WP 5A); 679 (UK); 697, 698 (Australia); 715 (Korea)

Disaster management 645 (ITU-T SG 15);

【出力文書】

DRAFT NEW REPORT ITU-R. 5A/TEMP/319R1
M.[PPDR]

Liaison Statement to Working 5A/TEMP/315R1
Party 5D to be dispatched
pending the approval of draft
new Report ITU-R M.[PPDR]

Liaison Statement to the CCV to 5A/TEMP/320R2
be dispatched pending the
approval of draft new Report
ITU-R M.[PPDR]

ELEMENTS FOR 5A/TEMP/318R1
CONSIDERATION IN FUTURE
DISCUSSIONS
ON RECOMMENDATION ITU-R
M.2015

議長レポート 5A/TEMP/329

【出席者】

SANDERS Amy (米・議長)、山崎、酒井原、出浦、渡川、米、加、豪、韓、モトローラ等、
最大 60 名

【審議概要】

- ・WG3は、PPDR(Public Protection and Disaster Relief)について審議するWGであり、今会合中に3回開催され、15件の入力文書および2件の前回会合からの議長添付文書を審議した。審議の大部分はSWGによる1件の新規レポート(ITU-R. M.[PPDR])作成作業に費やし、これを完了SG5へ送付、1件の文書(勧告ITU-R M.2015-PPDRの周波数配置-の将来的な改訂)を議長添付してキャリーフォワード、2件のリエゾン文書の作成などを行った。
- ・ITU-R. M.[PPDR]がレポートとして承認されれば既存のPPDR要件レポートM.2033は Suppressされることになる。

3.3.1 PPDRの要件の新レポートの作成に関する検討

【入力文書】

5A/636 Annex 6 (WP 5A); 5A/684R1 (China); 5A/690 (Australia, Canada, UK/CEPT, USA);
5A/691 (UK); 5A/695, 5A/696 (Australia); 5A/699 (Canada); 5A/713 (Motorola Solutions);
5A/714 (Korea); 5A/719 (Israel); 5A/723 (India)

【出力文書】

5A/TEMP/319R1(DRAFT NEW REPORT ITU-R. M.[PPDR])

5A/TEMP/315R1(WP5D 宛リエゾン文書)

5A/TEMP/320R2(用語・定義に関する CCV 宛リエゾン文書)

【審議概要】

- ・SWG Working Groupが13回開催され作成作業を完了した。
- ・3つのオフライングループの審議も加えて詳細に改訂検討が行われた。
- ・審議の中で、次の研究会期にはPPDR用の周波数要求に関する勧告・レポートの作成を検討すべきとの意見があったが、本レポートのANNEX6(周波数要求)、ANNEX7(周波数計算)が将来的に検討のベースになりうるとの提言もあった。
- ・本レポートの将来的な改訂、および上記次会期の勧告・レポート作成を考慮し、周波数計算については、勧告M.1390、勧告M.1768作成の実績を有するWP5Dにリエゾンを送付することで合意した。
- ・また、本レポート中で使用されているもののITUの用語データベースに記載されていない用語についてはCCV(COORDINATION COMMITTEE FOR VOCABULARY)宛のリエゾン文書を作成した。

3.3.2 PPDRの周波数配置に関する勧告M.2015の改訂に関する検討

【入力文書】

5A/636 Annex 7 (WP 5A); 5A/679 (UK/CEPT); 5A/697, 5A/698 (Australia); 5A/715 (Korea)

【出力文書】

5A/TEMP/318R1(勧告 M.2015 の将来議論のための要素)

【審議概要】

- ・入力文書を検討した結果、5A/679 (UK/CEPT)、および5A/715 (Korea)を例示として記載することとした。
- ・5A/679 (UK/CEPT)は、WRC-15にてCPMレポート記載のMethod C/Dが採用された（詳細なRegion内での周波数調和および各国の周波数仕様についてはM.2015に記載する）と仮定した場合のM.2015の改訂案を示しているものであり、WRC-15の結論に予断を示すものではないと注記あるものの、上記記載にとどめ、次の研究会期での検討の参考とするものとした。
- ・5A/715 (Korea)で提案の、BB PPDR用に採用が決定している718-728/773-783 MHzのバンドプランは本文書に反映された。
- ・5A/697, 5A/698 (Australia)に関しては、「Tuning Range」の文言の扱い、タイトルの変更（Frequency Arrangementからの趣旨の変更）、その周波数に関する正確性などから、異論もあり、文書番号のみをキャリアフォワードした。

3.4 WG4（干渉と共用）

【入力文書】

- | | |
|---|---|
| (1) 共用検討(一般) | 5A/637 (WP 5C); 5A/643 (WP 6A); 5A/655 (WP 5D);
5A/666 (WP 3M); 5A/693 (Saudi Arabia, Bahrain, UAE,
and Jordan); 5A/704 (Japan); 5A/728 (WP 4A) |
| (2) ダイナミックアクセス(共用) | 5A/638 (WP 5B); 5A/649 (ITU-D/ITU-R Joint Group for
Resolution 9); 5A/656 (WP 5D); 5A/672 (WP 1B)
(support WG 5 on sharing & coexistence) |
| (3) 人体暴露 | 5A/652, 5A/657 (ITU-T SG 5); 5A/661 (SG 6A) |
| (4) ITU-T Interference | 5A/639 (WP 5B); 5A/653 (ITU-T SG 5); 5A/660R1 (SG
6); 5A/675, 5A/676, 5A/677 (WP 1A) |
| (5) WRC-15 議題 1.1(Res.233) | 5A/636 Annex 8, Annex 9 (WP 5A); 5A/664 (WP 3K);
5A/688 (USA); 5A/700, 5A/703 (Canada) |
| (6) WRC-15 議題 1.8 (ESV
Res.909) | 5A/725 (WP 4A) |
| (7) WRC-15 議題 1.9.1, 1.9.2
(FSS Res.758) | 5A/727 (WP 4A) |
| (8) WRC-15 議題 1.10 (MSS Res.
234) | 5A/687 (WP 4C) |

【出力文書】

5A/TEMP/290R1 : 研究課題 242-1/5 の改定提案

5A/TEMP/291 : 研究課題 1-5/5 の改定提案

5A/TEMP/316 : RLAN 展開に使用でき、かつ共用を促進するための技術情報コンパイル文書

5A/TEMP/317 : 新レポート草案 ITU-R M.[RLAN MITIGATION]に向けた作業文書

5A/TEMP/322R1 : 新勧告草案 ITU-R SF.[INTERF.AREA]に向けた作業文書に関する WP4A
へのリエゾン文書

5A/TEMP/327 : WG4 議長報告

【出席者】

Michael Kraemer (ドイツ)、Christine Hsu、Jose Costa (カナダ)、Dante Ibarra、Charles Glass、

Amy Sanders、Brandy Sykes、Jayne Stancavage (USA)、Baozhen Lang (中国)、Olivier Pellay (フランス)、Andy Gowans (英国)、Evgeny Tonkikh (ロシア)、Jim Ragsdale(Ericsson)、John Lewis (Samsung)、圓谷、植田、大村、大槻、小川(日本)等最大 50 名

【審議概要】

- ・ 前回の会合からキャリアフォワードされたRLANとの共用のための軽減技術に関する新レポート草案ITU-R M.[RLAN MITIGATION]に向けた作業文書とコンパイル文書は内容を変更せずに再び次会合にキャリアフォワードした。
- ・ さらに2件の研究課題の改訂、1件のリエゾン文書の作成などを行った。

3.4.1 共用検討一般の検討

【入力文書】

5A/637 (WP 5C); 5A/643 (WP 6A); 5A/655 (WP 5D); 5A/666 (WP 3M); 5A/693 (Saudi Arabia, Bahrain, UAE, and Jordan); 5A/704 (Japan); 5A/728 (WP 4A)

【出力文書】

5A/TEMP/290R1 : 研究課題 242-1/5 の改定提案

5A/TEMP/291 : 研究課題 1-5/5 の改定提案

5A/TEMP/322R1 : 新勧告草案 ITU-R SF.[INTERF.AREA]に向けた作業文書に関する WP4A へのリエゾン文書

【審議概要】

- ・ 5A/693 (Saudi Arabia, Bahrain, UAE, and Jordan)により提案された研究課題1-5/5の改訂については、WP5Aに関連する勧告番号等について適切に参照されているかとの質問に対して、M.2012はIMTに特化しているため、及びM.914は無線測位業務に関するレポートであるために脚注の勧告リストから削除することが合意され、TEMP/290R1として出力され、SG5への上程が承認された。なお、SG1関連の勧告は研究課題の内容との関係上残すことにした。
- ・ 5A/704 (Japan)により提案された研究課題242-1/5の範囲拡大提案に対して、WP5AとWP5Cによる合同研究課題とし、かつ今回はWP5Dへのリエゾンの送付を行わないことが合意された。ただし、今後この研究課題に沿ったLMSIに特化した作業は単独で行うが、勧告F.1336の改定で合同作業を行ったように検討事項によっては合同とすることも確認され、TEMP/291として出力され、SG5への上程が承認された。
- ・ 5A/728 (WP4A)のWP5Cからの以下の2件のコメント(①)についてWG4として取り入れること、さらにWP5Dにも本文書を照会することも合意された。
 - ① 本件はSFシリーズの勧告として提案されているが、Sシリーズが相応しいため、タイトルに脚注を入れ、本勧告はSG4とSG5が共同で作成したものであるとの記載を入れること。
 - ② 本文書中の例には、この例は使用周波数帯とは関連がなく、該当するシステム特性に基づくものであるという記載を入れること。
Samsung から WRC-15 以降検討対象となると思われる、IMT 2020 で検討される周波数帯にも本件は関係する可能性があることが指摘されたが、TEMP/322R1 として出力・承認された。
- ・ その他の入力文書はノートされた。

3.4.2 ダイナミックアクセス(共用)の検討

【入力文書】

5A/638 (WP 5B); 5A/649 (ITU-D/ITU-R Joint Group for Resolution 9); 5A/656 (WP 5D); 5A/672 (WP 1B) (support WG 5 on sharing & coexistence)

【出力文書】

なし

【審議概要】

- ・ 5A/649(ITU-D/ITU-R Joint Group for Resolution 9)について、USより本文書はWG5にも割り当てられていることから、WG5との調整も必要であるとの指摘があったために、WG5

で作成されたリエゾン文書案に、「The Guide to the use of ITU-R texts relating to the land mobile service , including wireless access in the fixed service, and in particular section 3 (spectrum sharing) and section 5 (Sharing)」を挿入することで合意された。

- ・その他の入力文書はノートされた。

3.4.3 人体暴露の検討

【入力文書】

5A/652, 5A/657 (ITU-T SG 5); 5A/661 (SG 6A)

【出力文書】

なし

【審議概要】

- ・3件の入力文書はノートされた。

3.4.4 ITU-T Interferenceの検討

【入力文書】

5A/639 (WP 5B); 5A/653 (ITU-T SG 5); 5A/660R1 (SG 6); 5A/675, 5A/676, 5A/677 (WP 1A)

【出力文書】

なし

【審議概要】

- ・6件の入力文書はノートされた。

3.4.5 WRC-15議題1.1(Res.233)の検討

【入力文書】

5A/636 Annex 8, Annex 9 (WP 5A); 5A/664 (WP 3K); 5A/688 (USA); 5A/700, 5A/703 (Canada)

【出力文書】

5A/TEMP/316 : RLAN 展開に使用でき、かつ共用を促進するための技術情報コンパイル文書

5A/TEMP/317 : 新レポート草案 ITU-R M.[RLAN MITIGATION]に向けた作業文書

【審議概要】

- ・前回会合の議長報告5A/636のAnnex 8に記載の「RLANシステムと既存業務の共用を促進する可能性のある追加干渉緩和技術」についての新レポート草案ITU-R M.[RLAN MITIGATION]の作業文書の変更提案についてのカナダの入力文書5A/703について審議を行ったが、タイトル、Scope、第1章(Introduction)の変更について一端合意はしたが、最終的に会合参加者の合意に達することができなかったため、上記Annex 8とAnnex 9に変更を加えず、以下のエディターズノートをそれぞれの冒頭に追加することで、次回会合にキャリアフォワードし、さらにこれら両文書についてのカナダの入力文書(5A/703, 5A/700)も議長報告添付または次回会合にTEMP/316、TEMP/317としてキャリアフォワードすることが合意された。なお、TEMP/317のノートは、[Editor's Note: Contribution 5A/703 from the administration of Canada to revise this working document was received at the July 2015 meeting of WP5A. Due to lack of time and the different views expressed it was not possible to fully review this contribution. As a result, document 5A/703 is carried forward to the next meeting of WP5A for further consideration.]と記載されている。

3.4.6 WRC-15議題1.8, 1.9.1, 1.9.2, 1.10の検討

【入力文書】

5A/725 (WP 4A); 5A/727 (WP 4A); 5A/687 (WP 4C)

【出力文書】

なし

【審議概要】

- ・3件の入力文書はノートされた。

3.5 WG5（新技術）

（１）入力文書：Documents 5A/636 (Annex 10, Annex 11, Annex 12, Annex 13) (WP 5A), 5A/638 (WP 5B), 5A/649 (ITU-D/ITU-R joint Group for Resolution 9), 5A/655 (WP 5D), 5A/668 (IEEE), 5A/655 (WP 5D), 5A/656 (WP 5D), 5A/669 (IEEE), 5A/671 (WP 1B), 5A/672 (WP 1B), 5A/678 (WP 1A), 5A/680 (WP 1A), 5A/681 (WP 1A), 5A/682 (WP 1A), 5A/685 (中国), 5A/692 (北京郵電大学, China Mobile, Datang, Huawei), 5A/701 (カナダ), 708 (日本), 5A/709 (日本), 5A/710 (日本), 5A/711 (日本), 5A/712 (日本), 5A/716 (韓国), 5A/717 (韓国), 5A/718 (韓国)

（２）出力文書：5A/TEMP/288 (275-1000 GHz の陸上移動業務の技術上運用上の特性についての新研究課題案に関する WP1A へのリエゾン), 5A/TEMP/289 (275-1000 GHz の陸上移動業務の技術上運用上の特性についての新研究課題案), 5A/TEMP/299 (コグニティブ無線に関する研究課題 ITU-R 241-2/5 改訂案), 5A/TEMP/306 (ITU-D/ITU-R Joint Group on Resolution 9 への DSA に関するリエゾン返答), 5A/TEMP/307R1 (新勧告改定案 ITU-R M.2228), 5A/TEMP/308R1 (新勧告案 ITU-R M.[V2X]), 5A/TEMP/310R1 (ITS 無線インタフェース技術に関する外部 SDO へのリエゾン), 5A/TEMP/311 (ITS 周波数管理に関する WP 1B の新研究課題に対する WP 1B へのリエゾン返答), 5A/TEMP/312R1 (新報告案 M.[RAIL.LINK]), 5A/TEMP/313R1 (新報告草案作業文書 ITU-R M.[ITS USAGE]), 5A/TEMP/328 (WG5A5 議長報告)

（３）出席者： Bill McDonald, Dale Hughes (オーストラリア)、Hartmut Dunger, Bernd Wolf (ドイツ)、Halina Uryga (フランス)、Alessandro Trogole (イタリア)、Gabrielle Owen (オランダ)、Han-Byoung Cho (韓国)、Dante Ibara, Amy L. Sanders, Jayne Stancavage, Ed Ehrlich, Shawn Taylor, Andy Feltman (米国)、Xiaofan Li, Lucy Chen, Yao Hua (中国)、Jim Ragsdale (Ericsson), Alexander Gerdenitsch (Motorola Mobility), Fatih Yurdal (Robert BOSCH GmbH)、圓谷、小山、小川、植田、山本、高山、辻、大村、大原、山崎、吉野 (日本)などの約 50 名。

（４）審議概要：

WG5 は、コグニティブ無線システム(CRS: Cognitive Radio Systems)、ダイナミック周波数アクセス(DSA: Dynamic Spectrum Access)などの新技術、ITS(Intelligent Transport Systems)、275 GHz 以上の周波数帯の陸上移動通信業務の無線システム、センサーネットワークアクセスシステム(WASN: Wireless Access Sensor Network)などの新システムについて審議する WG である。本 WG は、今会合中、8 回開催され、25 件の入力寄与文書を審議し、10 件の出力文書を作成した。WG5 は、今会合中、下記に示す項目について SWG(Sub-Working Group)および DG (Drafting Group)を設立し審議を行った。

SWG (担当議長)	検討事項
SWG5A-5-1 ITS に関する検討 (小山 敏, 日本)	<ul style="list-style-type: none">- 車車・路車間通信に関する新勧告草案 M.[V2X]作業文書の作成と最終化- 高度 ITS 通信システムに関する報告 M.2228 改訂案作業文書の作成と最終化- ITS 利用状況の調査報告草案 ITU-R M.[ITS USAGE]の作業文書の作成
DG5A-5-1-1 Rail Link (辻 宏之, 日本)	<ul style="list-style-type: none">- 列車と移動通信システムに関する報告草案 ITU-R M.[RAIL LINK]の作業文書の作成

SWG5A-5-1(ITS)および DG5A-5-1-1(Rail Link)は、今会期中に、それぞれ 5 回および 1 回開催された。

3.5.1 ITSに関する検討

(1) 入力文書 : Documents 5/2R2, 5A/79 (Annex 25) (WP5A 議長報告), 5A/636 (Annex 1 Section 1, Annex 10, Annex 11, Annex 12, Annex 13) (WP5A), 5A/668 (IEEE), 5A/669 (IEEE), 5A/671 (WP1B), 5A/685 (中国), 5A/692 (北京郵電大学, 中国移动通信, Datang, Huawei), 5A/709 (日本), 5A/710 (日本), 5A/711 (日本), 5A/712 (日本), 5A/716 (韓国), 5A/717 (韓国), 5A/718 (韓国)

(2) 出力文書 : 5A/TEMP/307R1 (新勧告改定案 ITU-R M.2228), 5A/TEMP/308R1 (新勧告案 ITU-R M.[V2X]), 5A/TEMP/310R1 (ITS 無線インタフェース技術に関する外部標準化機関へのリエゾン), 5A/TEMP/311 (ITS 周波数管理に関する WP 1B での新研究課題に対する WP1B へのリエゾン返答), 5A/TEMP/312R1 (新報告案 M.[RAIL.LINK]), 5A/TEMP/313R1 (新報告草案作業文書 ITU-R M.[ITS USAGE]), 5A/TEMP/328 (Appendix 1, 2) (新報告案 ITU-R M.[ITS-USAGE]と新報告案 ITU-R M.[RAIL.LINK]の作業計画)

(3) 出席者 : Bill McDonald, Dale Hughes (オーストラリア)、Hartmut Dunger, Bernd Wolf (ドイツ)、Gabrielle Owen (オランダ)、Han-Byoung Cho (韓国)、Andy Feltman (米国)、Xiaofan Li、Lucy Chen、Yao Hua (中国)、Fatih Yurdal (Robert BOSCH GmbH)、圓谷、小山、山本、高山、辻、大村、大原、小川、山崎、植田、吉野 (日本)などの約計 25 名であった。

(4) 審議概要 :

- ・車車間通信及び路車間通信に関する新勧告草案 ITU-R M.[V2X] 作業文書については、IEEE (5A/668) と IEEE (5A/669) および日本 (5A/710) からの寄書を統合した作業文書をもとに修正が行われ、新勧告案が WP5A プレナリーで承認され SG5 へ上程された。
- ・高度 ITS 無線通信システムの報告 ITU-R M.2228 改訂草案に関する検討は、日本 (5A/711) と韓国 (5A/718) からの寄書を反映したのちに新報告改訂案として WP 5A プレナリーで承認され SG5 へ上程された。
- ・ITS 利用状況の調査レポートに関する新報告草案 ITU-R M.[ITS USAGE]作業文書については、日本寄書 (5A/712) と韓国寄書(5A/716)の内容を反映した作業文書を基に審議が行われ、作業文書が更新された。次会合で引き続き検討が継続されることとなった。
- ・WP 1B から WP 5A への「ITS の周波数管理に関する新研究課題の提案」に関するリエゾン文書 (5A/671) を審議した結果、WP 1B と WP 5A での作業の重複が生じることを指摘したリエゾンを WP 1B に返答した
- ・列車との公衆移動通信システムに関する新報告 ITU-R M.[RAIL LINK]作業文書については、中国寄書(5A/685)、日本寄書(5A/709)および韓国寄書(5A/718)の内容を反映させた作業文書をベースに審議が行われ、作業文書が更新された。次会合で引き続き検討が継続されることとなった。
- ・275 - 1 000 GHz の周波数領域における陸上移動業務の技術上・運用上の特性についての新研究課題案と WP1A への返答リエゾン文書案に関する日本提案については特段の議論なく合意され、新研究課題と WP1A のリエゾンが作成承認された。
- ・WTDC 決議 9 についての ITU-D/ITU-R Joint Group for resolution 9 からのリエゾン文書を精査し、Dynamic Access に関して WP5A での過去の研究結果についての情報を伝えるリエゾン返答を行った。
- ・コグニティブ無線に関する研究課題 ITU-R 241-2/5 を精査し改訂を行った。
- ・その他の研究課題、勧告、報告、ハンドブックについては、改訂、削除の意見はなかった。

- ・ 勧告改定案 ITU-R M.[5A/VOC] (陸上移動業務の語彙)については、現時点では追加して定義すべき語彙はないとの結論となった。

3.5.1.1 車車間通信及び路車間通信に関する新勧告草案 ITU-R M.[V2X] 作業文書に関する検討

(1) 入力文書：5A/635 Annex 11 (WP 5A), 5A/668 (IEEE), 5A/669 (IEEE), 5A/692 (北京郵電大学, 中国移動通信, Datang, Huawei), 710 (日本)

(2) 出力文書：5A/TEMP/308R1 (新勧告案 ITU-R M.[V2X]), 5A/TEMP/310R1 (ITU 外部標準化団体への ITS 無線インタフェースに関するリエゾン)

(3) 出席者： Bill McDonald, Dale Hughes (オーストラリア)、Hartmut Dunger, Bernd Wolf (ドイツ)、Gabrielle Owen (オランダ)、Han-Byoung Cho (韓国)、Andy Feltman (米国)、Xiaofan Li、Lucy Chen、Yao Hua (中国)、Fatih Yurdal (Robert BOSCH GmbH)、圓谷、小山、山本、高山、辻、大村、大原、小川、山崎、植田、吉野 (日本)などの約計 25 名であった。

(4) 審議概要：

- ・ IEEEおよび日本寄書の内容を反映させた作業文書をもとに精査をおこなった。
- ・ 中国から寄書(5A/692)を基にLTEを基にしたLTE-V2XをM.[V2X]とM.2228の改訂に反映したいとの提案がなされた。これに対してドイツからWP 5Dとの関係確認が必要とのコメントに対して、SWG議長からWP 5Dとの関係を確認する必要があるとの認識が示された。米国から3GPPでのLTE-V2Xの標準化作業が始まったばかりであり時期尚早との懸念が示された。さらに日本から、M.[V2X]及びM.2228改訂の作業は数年間の作業の末、本会合での完成を目指しており、今後標準化が見込まれる案件については次回のWP 5A会合以降に提案してはどうかとのコメントがなされた。議論の末、寄書(5A/692)の内容は今回のM.[V2X]及びM.2228の改訂作業には含めないことで合意された。中国は次回以降のWP 5A会合に勧告または報告に関する新規または改訂提案することを検討することになった。
- ・ 中国から、IEEEの記述について、RLANとV2X通信システムの共用検討の結果に応じて参照するIEEE規格が将来変更になる可能性があるとのコメントがあったが、当会合時点でのIEEEからの寄書を反映して作業を進めることが確認された。
- ・ 中国からrecommendsの項に現時点で含まれている4標準 (ARIB、ETSI、IEEE、TTA) 以外も使用できるという文を追加する提案が口頭であった。これに対し日本は具体的な標準をrecommendsしなければ読者にとって有効な勧告にならないと意見を述べた。またオランダから、BWAに関する同様な勧告についても具体的な標準のリストのみをrecommendsしているとのコメントがあった。複数の反対意見が出されたため、SWG議長から中国提案の削除が提案され、合意された。
- ・ 中国からETSI、IEEEに関するAnnexについても追加、変更の提案が口頭であったが、ドイツから反対があり、SWG議長からも、両標準化団体とのリエゾンに基づく入力をそのまま反映している旨、周知があり、追加、変更しないことが合意された。
- ・ Annex 5 のPERについて、その定義を明確化するテキストの提案がなく、以前にPER追加を提案した韓国の了解のもと、この項は表から削除された。
- ・ その他エディトリアルな修正や、recommendsの直後にAnnex 5 のサマリを参照するNOTEが追加された。
- ・ 以上を作業文書に反映し、WP 5Aプレナリで新勧告案として承認された。
- ・ 中国の提案で、WP 5AにおけるM.[V2X]作成等のITS無線インタフェースに関する活動を外部標準化団体に情報展開し、今後のWP 5AでのITS無線インタフェースに関する活動への貢献を促すリエゾン文書を作成することになった。
- ・ 中国からの提案でWP 5AにおけるM.[V2X]作成等のITS無線インタフェースに関する活動を外部標準化団体に情報展開し、今後のWP 5AでのITS無線インタフェースに関する活動への貢献を促すリエゾン文書を作成することになった。中国から提案のリエゾン文書案が提示されエド

イトリアルな修正のうえ承認された。リエゾン文書の送付先について、中国からの要請に基づき、3GPP、CCSAが追加された旨、SWG議長から報告がなされた。

- ・ オランダからETSI TC-ITSの活動について情報提供があり、ノートされた。

3.5.1.2 高度 ITS 無線通信システムの報告 M.2228 改訂に関する検討

(1) 入力文書：5A/636 Annex 10 (WP 5A), 5A/692 (北京郵電大学, 中国移動通信, Datang, Huawei), 711 (日本), 718 (韓国)

(2) 出力文書：5A/TEMP/307R1 (高度 ITS 無線通信システムに関する報告 M.2228 の改訂案)

(3) 出席者： Bill McDonald, Dale Hughes (オーストラリア)、Hartmut Dunger, Bernd Wolf (ドイツ)、Gabrielle Owen (オランダ)、Han-Byoung Cho (韓国)、Andy Feltman (米国)、Xiaofan Li、Lucy Chen、Yao Hua (中国)、Fatih Yurdal (Robert BOSCH GmbH)、圓谷、小山、山本、高山、辻、大村、大原、小川、山崎、植田、吉野 (日本)などの約計 25 名であった。

(4) 審議概要：

- ・ 前回のWP 5A会合からキャリアフォワードされたテキスト(5A/636 Annex10)をもとに、今回入力された韓国 (5A/718) 及び日本 (5A/710)寄書を統合した文書をエディタ(日本)が作成した。
- ・ 中国から前記M.[V2X]と同様に新規内容を追加したいとの発言があったが、当会合での作業完了を目指すことを合意の上でレビューを行っており、これから新規提案を含めて作業をやり直す段階ではない旨、SWG議長からコメントがあり、この新規提案は受け付けないことが合意された。
- ・ その他は特段の意見無くSWGでの作業を完了した。その後WG5とWP 5Aプレナリーでも承認された。

3.5.1.3 ITS 利用状況の調査レポートに関する検討

(1) 入力文書：5A/636 Annex 12 (WP 5A), 712 (日本), 716 (韓国)

(2) 出力文書：5A/TEMP/313R1 (新報告草案 M.[ITS-USAGE]作業文書), 5A/TEMP/328 Appendix 1 (作業計画) (WG5A5 議長報告)

(3) 出席者： Bill McDonald, Dale Hughes (オーストラリア)、Hartmut Dunger, Bernd Wolf (ドイツ)、Gabrielle Owen (オランダ)、Han-Byoung Cho (韓国)、Andy Feltman (米国)、Xiaofan Li、Lucy Chen、Yao Hua (中国)、Fatih Yurdal (Robert BOSCH GmbH)、圓谷、小山、山本、高山、辻、大村、大原、小川、山崎、植田、吉野 (日本)などの約計 25 名であった。

(4) 審議概要：

- ・ 日本寄書 (5A/712) と韓国寄書(5A/716)の内容を反映した作業文書をSWG議長が作成し、これをベースに精査した。特段の議論なく合意されて、次回WP5A会合で継続審議されることになった
- ・ 今後の作業計画について議論された。SWG議長は2016年11月会合で最終化を行う計画案を示した。これに対して、ドイツは更に2会合分の追加審議が必要との意見を表明した。議論の結果、2017年11月会合に作業を完了させる計画に変更することで合意された。
- ・ 新報告草案M.[ITS-USAGE]とITSハンドブックとの関係について議論となったが、ハンドブックの取り扱いについて特段の意見が出されず、今後オフライン等で検討することとされた。
- ・ 作業計画については、審議結果を追記ののち、5A/TEMP/328 Appendix 1としてWP 5A議長報告に添付された。

3.5.1.4 ITSの周波数管理に関するWP 1B 新研究課題の提案に関するリエゾン

(1) 入力文書：5A/671 (WP 1B)

(2) 出力文書：5A/TEMP/311 (ITS 周波数管理の新研究課題に関する WP 1B へのリエゾン返信)

(3) 出席者： Bill McDonald, Dale Hughes (オーストラリア)、Hartmut Dunger, Bernd Wolf (ドイツ)、Gabrielle Owen (オランダ)、Han-Byoung Cho (韓国)、Andy Feltman (米国)、Fatih Yurdal (Robert BOSCH GmbH)、圓谷、小山、山本、高山、辻、大村、小川、植田、吉野 (日本)などの約計 20 名であった。

(4) 審議概要：

- ・ WP 1BにおいてITSの周波数管理に関する新研究課題の提案があることを、WP 5Aに照会するWP 1Bからのリエゾン文書(5A/671)が審議された。
- ・ SWG議長が作成したリエゾン返答の文書案が提示され精査された。返答は、WP 1Bの新研究課題がWP 5Aの研究課題ITU-R 205/5に関する活動と重複していることを示す内容であった。
- ・ SWG議長作成の文書案の趣旨は特段の議論なく合意され、WP 5AでのITSの活動に関して参照できる文書の情報及び次回WP 5A会合(2016年5月)の情報が追記され、今後のWP 5AでのITSに関する活動へのWP 1Bからの貢献を促すリエゾン文書として承認された。

3.5.1.5 列車移動通信システムに関する新報告案 M.[RAIL.LINK]に関する検討

(1) 入力文書：5A/636 (Annex 13) (WP5A), 5A/685 (中国), 5A/709 (日本), 718 (韓国)

(2) 出力文書：5A/TEMP/312R1 (新報告案 M.[RAIL.LINK]), 5A/TEMP/328 Appendix 2 (作業計画)(WG5A5 議長報告)

(3) 出席者： Bill McDonald, Dale Hughes (オーストラリア)、Hartmut Dunger, Bernd Wolf (ドイツ)、Han-Byoung Cho (韓国)、Andy Feltman (米国)、Fatih Yurdal (Robert BOSCH GmbH)、圓谷、辻、高山、小山、山本、小川、植田、大村、大原、山崎、吉野 (日本)などの約計 20 名であった。

(4) 審議概要：

- ・ 本件の審議は、DG-5A5-1-1 (議長:辻 宏之(日本))で審議された。
- ・ DG議長より、中国と日本でオフラインの議論を行い、まずは5A/685、5A/709をマージした文書を用意することになった旨、報告があった。
- ・ 韓国寄書については、その後、韓国の担当者含めて作業を行った。
- ・ 韓国よりタイトルの「Train」を「Railways」へ修正することが提案され、中国が本提案に賛成したが、日本は本修正に対して反対の姿勢を示し、最終的には合意に至らず両者併記のまま次会合で継続審議となった。
- ・ 本報告書のスコープについての議論があった。中国は本報告書のスコープはPublicのみであるとの見解を示したが、韓国はcontrol networkの追加提案をしており、さらに日本もintegrated systemをAnnex 2で提案していることから、publicに限定されないとの見解を日韓は示した。DG議長より、本報告書のタイトルからpublicを削除する議論が必要との見解が示され議論が行われた。最終的には合意に至らず次会合で継続審議となった。
- ・ 中国からの入力文書において、「2.5 鉄道の分類」「2.6 シナリオの重要性」という項目を本体に追加する提案が行われた。議長より、2.5の詳細な内容を示したAnnexが無いことから次回入力が必要なければ削除する方針が提案され、合意された。そして、この方針についての議長メモ

が追記された。2.6及び中国提案のAnnex3については、米国より、該当部分が電波伝搬にかかわる内容であること、及び内容としてITU-Rのハンドブックに載せるべきものであるとして、現時点ではスクエアブラケットとしてSG3のWPヘリエゾンを送ることが提案された。結果として2.6及びAnnex3をスクエアブラケットとし、次回引き続き議論する旨の議長メモを追記することとされた。

- ・ DG議長より、今回のWP5A会合では作業文書のままキャリアフォワードし、次回WP5A会合にてPDNRへの格上げする計画が報告された。これに対し中国は、今回の進捗に応じて延期を含めて作業計画を見直したいと発言し、議論の結果、必要に応じDGにて作業計画の検討も行うこととした。
- ・ 更新された作業計画はWG5A5議長報告(5A/TEMP/328) Appendix 2に添付されることとなった。

3.5.2 275 GHz 以上の周波数帯の陸上移動通信業務の技術上運用上の特性

(1) 入力文書：5A/678 (WP1B), 5A/680 (WP1B), 5A/681 (WP1B), 5A/682 (WP1B), 5A/708 (日本)

(2) 出力文書：5A/TEMP/288 (275-1000 GHz の陸上移動業務の技術上運用上の特性についての新研究課題案に関する WP1A へのリエゾン), 5A/TEMP/289 (275-1000 GHz の陸上移動業務の技術上運用上の特性についての新研究課題案),

(3) 出席者： Jose Costa (カナダ), Christine Hsu (カナダ), Alessandro Trogolo (イタリア), Dante Ibarra (米国), Jayne Stancavage (米国), Ed Ehrlich (米国), Shawn Taylor (米国), Jim Ragsdale (Ericsson), Bernd Wolf (ドイツ)、圓谷、小川、植田、小山、吉野、大村、(日本)などの約計 30 名であった。

(4) 審議概要：

- ・ 275 - 1 000 GHzの周波数領域における陸上移動業務の技術上・運用上の特性についてのWP1Aからのリエゾン文書(Doc.5A/678, 680, 681, 682)と、新研究課題案とWP1Aへの返答リエゾン文書案に関する日本提案について(Doc.5A/708)をもとに審議を行った。
- ・ 275 - 1 000 GHzの周波数領域における陸上移動業務の技術上・運用上の特性についての新研究課題作成の日本提案については、SG1の研究課題ITU-R 237/1のスコープを陸上移動業務も含むものに拡張したら良いのではないかと提案がオフラインで米国からあった。しかしながら、SG5議長に確認したところ、異なるSG間での研究課題の共有はできないことが明確になった。
- ・ 最終的には、WP5Aで陸上移動業務についての新研究課題を立ち上げることで合意され、新研究課題案を作成した。
- ・ 新研究課題立ち上げが合意されたのち、WP1Aへのリエゾンを作成し、WP5Aプレナリで合意承認された。

3.5.3 ダイナミックアクセス技術に関するリエゾン

(1) 入力文書：5A/638 (WP 5B), 5A/649 (ITU-D/ITU-R Joint Group for Resolution 9), 5A/656 (WP5D), 5A/TEMP/672 (WP1B)

(2) 出力文書：5A/TEMP/306 (ITU-D/ITU-R Joint Group on WTDC 決議 9 へのリエゾン)

(3) 出席者： Bill McDonald, Dale Hughes (オーストラリア)、Hartmut Dunger, Bernd Wolf (ドイツ)、Halina Uryga (フランス), Alessandro Trogole (イタリア), Han-Byoung Cho (韓国)、Dante Ibarra, Amy L. Sanders, Jayne Stancavage, Ed Ehrlich, Shawn Taylor, Andy Feltman (米国)、Jim Ragsdale (Ericsson), Alexander Gerdenitsch (Motorola Mobility), Fatih Yurdal (Robert BOSCH GmbH)、圓谷、小山、小川、植田、山本、高山、辻、大村、大原、山崎、吉野 (日本)などの約

30名。

(4) 審議概要：

- ・ WTDC 決議9についてのリエゾン文書を精査した。本リエゾンのDynamic Accessに関する部分について、WP5Aでこれまで行ったDynamic Accessに関連する技術的検討のレポートについての情報を記述したリエゾンを返答することで合意した。
- ・ 上記合意に基づいて、WG5A5議長が作成したテキスト案と米国が作成したテキスト案を統合してDynamic Accessの技術的側面についてのコメントを含むリエゾン返答案を作成した。
- ・ さらに、これをWG5A4に送付して、Dynamic Accessの規則面でのコメント案を追記してもらうこととした。
- ・ WG5A4議長は、これに周波数共用に関する情報を追記し、WP5Aプレナリへ上程し承認された。

3.5.4 ITU-R テキスト(勧告、報告書、研究課題、ハンドブックなど)の見直し

(1) 入力文書：5/2R2, 5A/79 (Annex 25) (WP5A 議長報告), 5A/636 (Annex 1, Secion 1) (WP5A 議長)、5A/655 (WP5D), 5A/701 (カナダ)

(2) 出力文書：5A/TEMP/299 (コグニティブ無線に関する研究課題 ITU-R 241-2/5 改訂案)

(3) 出席者： Bill McDonald, Dale Hughes (オーストラリア)、Hartmut Dunger, Bernd Wolf (ドイツ)、Halina Uryga (フランス)、Alessandro Trogole (イタリア)、Han-Byoung Cho (韓国)、Dante Ibara, Amy L. Sanders, Jayne Stancavage, Ed Ehrlich, Shawn Taylor, Andy Feltman (米国)、 Jim Ragsdale (Ericsson), Alexander Gerdenitsch (Motorola Mobility), Fatih Yurdal (Robert BOSCH GmbH)、圓谷、小山、小川、植田、山本、高山、辻、大村、大原、山崎、吉野 (日本)などの約30名。

(4) 審議概要：

- ・ WG5A-5に関係する既存勧告、報告書、研究課題、ハンドブックの見直しを行った。
- ・ WP5Dからのリエゾン(5A/655)を審議した。5A/655はWP5DとしてはIMTのCRSの今後の研究は不要であるとの認識が示されており、WP5A側にCRSの研究課題の扱いをゆだねるとの内容であった。WP5Aはこのリエゾンをノートした。
- ・ コグニティブ無線に関する研究課題ITU-R 241-2/5についての精査を行った。米国はCRSの研究課題ITU-R 241-2/5の改訂提案寄書が今会合にないのに改訂を議論するのかと改訂への懸念を示した。これに対し、カナダは第14回WP5A会合でCRSの研究課題の継続を表明しているとして継続に必要な改訂は必要との発言をした。
- ・ 議長は、研究課題ITU-R 241-2/5について削除提案をする(継続反対を提案する)寄書は今会合に入力されていないとして、カナダの意見を採って改訂を行うこととした。
- ・ 上記結論を受けて、研究課題ITU-R 241-2/5の内容の精査を行い、改訂案を作成した。
- ・ 改訂案は、米国およびテレコムイタリアにより、これまでのCRSの研究と内容が重複しないように、研究済みの項目については削除もしくは研究内容を極度に限定する内容に書き換えられた。
- ・ その後、WP5Aプレナリーで、イランが研究課題としてあまりに限定されているので研究課題として適当でないと発言し、さらに研究課題2,3,4,5,8をもとに戻すべきと発言した。結果として研究課題ITU-R 241-2/5から研究済みの項目を削除したのみの改訂となり、研究課題2,3,4,5,8はもとに戻され、元の研究課題の記述に近いものとなった。
- ・ その他の研究課題、勧告、報告、ハンドブックについては、改訂、削除の意見はなかった。
- ・ 勧告改定案ITU-R M.[5A/VOC] (陸上移動業務の語彙)については、現時点では追加して定義すべき語彙はないとの結論となり、変更なしとなった。

4 今後の予定

WP5A の次回会合の各 WG の主な審議事項は以下のとおり。

【WG1（アマチュア業務）】

- (1) 勧告 ITU-R M.1732 の改訂作業を引き続き行うこと。
- (2) 新研究期の作業計画を作成すること。

【WG2（システムと標準）】

- (1) Local Coverage における運用に関する新勧告草案作成の研究開始を合意し、着手すること。
- (2) デジタル陸上移動システムの M.2014 改訂報告に関する作業文書を完成し、暫定改訂報告案とすること。

【WG3（PPDR）】

- (1) 次の研究会期において、「勧告 M.2015 の将来議論のための要素」をもとに同勧告の改訂作業に着手すること。
- (2) PPDR 用の周波数要求に関する勧告・レポートの検討作業を行うこと。

【WG4（干渉と共用）】

- (1) WP3M における勧告 P.619 の改定作業に対するレビューを必要に応じて行うこと。
- (2) WP4A における新勧告案 SF.[INTERF.AREA]の作業に対するレビューを必要に応じて行うこと。
- (3) RLAN システムと既存業務の共用を促進する可能性のある追加干渉緩和技術に関する新レポート案 M.[RLAN MITIGATION]の作成作業を引き続き行うこと。
- (4) RLAN 展開に使用でき、かつ共用を促進するための技術情報コンパイル文書の作成作業を引き続き行うこと。
- (5) 5GHz 帯無線測位業務を保護するための無線 LAN を含めたワイヤレスアクセスで使用する動的周波数選択(DFS)に関する勧告 M.1652 の改定案、又はこれに関連する新勧告案の検討を行うこと。

【WG5（新技術）】

- (1) 新報告ITU-R M.[ITS USAGE]「ITS利用状況の調査」に関する作業文書の作成作業を引き続き行うこと。
- (2) 新報告ITU-R M.[RAIL LINK]「列車との公衆移動通信システム」に関する作業文書の作成作業を引き続き行うこと。
- (3) 陸上移動ハンドブック(LMH: Land Mobile Handbook)の第4巻 ITSの改訂を行うかを議論すること
- (4) 275-1000 GHzの周波数帯での陸上移動業務の技術上運用上の特性に関して、新研究課題をもとに検討を開始すること

5 次回会合のスケジュール

次回（第 16 回）WP5A 会合は、2016 年 5 月 10 日～20 日、ジュネーブ（スイス）にて開催される予定。

表2 日本入力文書の審議結果

担当WG	文書番号	概要	審議結果	出力文書
WG4	5A/704	陸上移動無線方式基地局アンテナもカバーするように研究課題の所掌範囲を拡大する改訂提案を行う。また、来会期ではWP5A/5C共同責任の研究課題とする。	considering a)とdecides 1で提案した、「LMSにおけるcellular-type systems」の文章でcellular-typeを削除し、「LMSにおけるシステム」へ変更して、SG1へ上程された。	5A/TEMP/ 291
WG2	5A/705	6GHz帯以下における広帯域無線アクセスシステムのローカルカバレージ運用の新報告書案ITU-R M.[LOCAL_COVERAGE]の提案。	CGからの入力文書(665)、中国寄書(686)、加国寄書(702)、日本寄書(705)を基に新報告案M.[LOCAL_COVERAGE]が最終化され、SG5へ上程された。	5A/TEMP/ 314
WG2	5A/706	6GHz帯以下における広帯域無線アクセスシステムのローカルカバレージ運用の新勧告案作成についての作業計画の提案。	勧告に向けた議論を開始し、勧告の必要性は次回会合にて引き続き議論することになった。	5A/TEMP/ 321R1
WG2	5A/707	M.2014は、世界的に使用されている業務用途の陸上移動無線のデジタル方式各種の仕様概要を記述したものである。北米を中心として世界的に使用されている、日本で開発された4値FSK超狭帯域(6.25kHz幅)FDMA通信方式であるNXDN(Next Generation Digital Network)方式を当該Reportに追加することを提案する。	従来WG3で審議されていたが、今回からWG2で審議されることになった。日本寄書(707)を基に改訂報告書の作業文書が作成され、議長添付として、carry forwardされた。また、外部へのリエゾン文書を送付することになり、次回会合で入力があれば審議することになった。	5A/TEMP/ 305 5A/TEMP/ 303
WG5	5A/708	WP1Aから275-3 000 GHzの周波数領域における能動業務の技術動向について記載した新レポートITU-R 2352-0が完成したことを知らせるリエゾンが、WP5Aへ送られた。これを受けて、275-1 000 GHz帯における陸上移動業務の技術特性と運用特性を研究する、新研究課題案ITU-R [THZ LAND MOBILE CHAR]を立ち上げること、WP1Aにこれらに関して通知する返答リエゾン文書案を提案した。	新研究課題案はエディトリアル修正他微修正(周波数帯を周波数領域とすることや、275 GHz以上の周波数領域以外のものを取り扱っている文書などの引用を削除等)が施され、新研究課題案としてSG5会合に上程することが合意された。WP1Aへの返答リエゾン文書案についても同様の修正を施し合意された。	5A/TEMP/ 288, 5A/TEMP/ 289

WG5	5A/709	2014年10月のWP5A会合にて承認された地上・列車間の無線通信に関する新レポート草案ITU-R M.[RAIL.LINK]に向けた作業文書に対する修正提案である。Annex1は結果の追加、Annex2では日本のシステム事例の追加と章立の変更提案となっている。	日本からの修正提案はほぼ合意され反映された。また、韓国からの追記提案は承認されたが、中国からの Annex3 への追加は本SCOPE から外れているという意見があり、次回以降で再審議されることとなった。さらに、この作業文書の SCOPE において、日本は公衆網と制御網の両方を扱うことを修正提案しているが、中国は公衆網のみを扱うことを主張。この点は今後の会合で検討することが合意された。	5A/TEMP/ 312R1
WG5	5A/710	車車間通信及び路車間通信に関する暫定勧告案ITU-R M.[V2X] 作業文書への最新情報に合わせたテキストの修正提案。	日本と韓国、IEEE からの提案が反映された新勧告案が出力され、SG5 へ上程された。	5A/TEMP/ 308R1
WG5	5A/711	Advanced ITS無線通信に関する改訂報告草案ITU-R M.2228 への最新情報に合わせたテキストの修正提案。	日本と韓国からの提案が反映された改訂報告案が出力され、SG5 へ上程された。	5A/TEMP/ 307R1
WG5	5A/712	ITS利用状況の調査報告ITU-R M.[ITS USAGE]作業文書全般に関するテキストの追加提案。	日本からの提案が反映された作業文書が出力された。次回 WP 5A で継続審議の予定。	5A/TEMP/ 313R1

表3 WP5A 入力文書

Working Party 5A (Chairman: José Costa, Canada; Office: T077; Ext.: 5517)	
Reports	543 (Chairman, WP 5A); 608 (L.R. #1); 630 (Disaster Relief L.R.); 632 (L.R. #3); 633 (WWRF L.R.)
General	79 Annex 25 (WP 5A); 566 (CCV); 569R1 (Chairman, SG 5); 580 (IMO); 594 (Canada); 616 (ETSI); 628 (WP 5D); 631 (List of Documents)
Working Group 1: Amateur Services (Chairman: Dale Hughes, Australia)	
COMPAT Report	543 Annex 10 (WP 5A); 579 (Russian Federation); 592 (Canada); 599 (China); 611 (USA); 622 (IARU)
Amateur texts Guide	623 (IARU)
Morse code	551 (WP 1C)
(AI 7; AI 9.1.8) & other	See also AI 1.12 & AI 1.18 below
Working Group 2: Systems and standards (Chairman: Lang Baozhen, China)	
Broadband Wireless Access	538, 539 (WP 5C); 568 (MEF); 626, 629 (WP 5D)
Local coverage aspects	543 Annex 12 (WP 5A); 570 (CG on Rep. Local Coverage); 588
Hearing aids and related	532R1 (JCA-AHF). 543 Annex 11 (WP 5A); 561R1 (WP 5D); 565 (ITU-T SG 16); 578 (EHIMA); 598 (China)
Rec. M.1450	586 (Ukraine)
Out-of-band emissions	552 (WP 1A)
Support to WG 4 on RLANs	See AI 1.1 below
AI 9.1.6 (Def. Res. 957)	
Working Group 3: PPDR (Chairman: Amy Sanders, USA)	
PPDR General	533, 550 (ITU-T SG 2 FG-DR&NRR); 560 (WP 5D); 575 (APT); 606 (UAE)
Draft new Rep. ITU-R M.[PPDR] & Supp. of M.2033	543 Annex 15 (WP 5A); 572 (CG on Rep. M.[PPDR]); 581 (Australia); 585 (Motorola Solutions); 589 (Canada); 597, 600 (China); 604 (Korea)
Update of Rec. ITU-R M.2009	543 Annex 13 (WP 5A); 590 (Canada); 596 (China); 627 (WP 5D)
Update of Rec. ITU-R M.2015	543 Annex 14 (WP 5A); 574 (Israel); 591 (Canada); 601 (China); 605 (Motorola Solutions); 610 (Vietnam)
Working Group 4: Interference and sharing (Chairman: Michael Kraemer, Germany)	
Sharing studies (general)	547 (WP 5B); 554, 555, 556 (WP 1A); 577 (CG-Handbook); 582, 584 (WP 7B)
Dynamic Access – sharing	534 (WP 5C); 544 (WP 5B); 553 (WP 1B); 587 (USA) (to support WG 5 on sharing & coexistence)
Update of Rec. ITU-R M.1824	543 Annex 17 (WP 5A); 593 (Canada); 617 (Japan)
ITU-T interference	545 (WP 5B); 548, 549 (ITU-T SG 9); 557, 558, 559 (WP 1A); 567 (ITU-T WP 2/5); 573, 576 (ITU-T SG 9)
AI 1.1 (Res. 233)	543 Annex 18 (WP 5A); 546 (WP 5B); 595 (Canada); 609 (France); 612 (USA); 621 (ESA)
AI 1.2 (Res. 232)	
AI 1.5 (UAS Res. 153)	
AI 1.6 (FSS Res. 151, 152)	543 Annex 16 (WP 5A); 571 (WP 4A); 624 (USA)
(AI 1.7) (FSS in ~5100 MHz)	
AI 1.8 (ESV Res. 909)	
AI 1.9.1, 1.9.2 (FSS Res. 758)	535, 536 (WP 5C); 563 (WP 4C)
AI 1.10 (MSS Res. 234)	537 (WP 5C); 564 (WP 4C)
AI 1.11 (EESS Res. 650)	
AI 1.12 (EESS Res. 651)	
AI 1.13 (SRS Res. 652)	
AI 1.15 (MMS Res. 358)	
AI 1.16 (AIS Res. 360)	
AI 1.17 (WAIC Res. 423)	
AI 9.1.x (MSS Res. 205)	583 (WP 7B)
Working Group 5: New technologies (Chairman: Hitoshi Yoshino, Japan)	
CRS Report	543 Annex 21 (WP 5A); 607 (Nokia Solutions and Networks Oy); 618 (Japan); 625 (Orange, Telecom Italia)
Dynamic Access – technol.	534 (WP 5C); 544 (WP 5B); 553 (WP 1B); 587 (USA) (WG 5 to lead the liaison responses)
ITS	198 Annex 20, 543 Annex 19, 543 Annex 20 (WP 5A); 562 (ETSI); 602, 603 (Korea); 615, 619, 620 (Japan)
AI 1.18 (Res. 654)	

表4 WP5A 出力文書

文書番号 (5A/TEMP/)	担当 WG	題 目	処理
288	WG5	Reply Liaison Statement to Working Party 1A Copy for information to WP 5C, WP 7C AND WP 7D The land mobile service in the frequency range 275-1 000 GHz	WP1Aへ送付
289	WG5	Draft New Question ITU-R [THZ LAND MOBILE CHAR] Technical and operational characteristics of the land mobile service in the frequency range 275-1 000 GHz	SG5へ送付
290R1	WG4	PRELIMINARY DRAFT REVISION OF QUESTION ITU-R 242-1/5, Reference radiation patterns of omnidirectional and sectoral antennas for the fixed and mobile services for use in sharing studies	SG5へ上程
291	WG4	PRELIMINARY DRAFT REVISION OF QUESTION ITU-R 1-5/5, Interference protection ratios and minimum field strengths required in the land mobile services	SG5へ上程
292	WG1 WG3	Question ITU-R 209-4/5 改定案	SG5へ上程
293	WG1	WP5A議長報告の素材	議長報告に添付
294	WG1	勧告ITU-R M.1732-1改訂草案に向けての作業文書	議長報告Annex4 に添付
295	WG1	Question ITU-R 48-6/5 改定案	SG5へ上程
296	WG1	リエゾン文書 勧告ITU-R M.1732-1の改訂提案について	WP-4A, 4C, 5B, 5C, 5D, 7B, 7C及 び7Dへ送付
297	WG1	勧告ITU-R M.1544-0 改訂案	SG5へ上程
299	WG5	Draft Revision of Question ITU-R 241-2/5 Cognitive radio systems in the mobile service	SG5へ送付
300	WG2	Liaison statement to ITU-T Study Group 15 on ANTS	ITU-T SG15へ送 付
301	WG2	Liaison statement to Working Party 1B (copy to ITU-D SG1 and ITU-R WP 5D for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R SM.[INNOVATIVE REGULATORY TOOLS] - Innovative regulatory tools to support enhanced shared use of the spectrum	WP1Bへ送付
303	WG2	Liaison statement to External Organizations - Invitation to review the working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R M.2014-2 - Digital land mobile systems for dispatch traffic	外部団体へ送付

304	WG2	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R M.2014-2 - Digital land mobile systems for dispatch traffic (Question ITU-R 37-5/5)	議長報告Annex2に添付
305	WG2	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R M.2014-2 - Digital land mobile systems for dispatch traffic (Question ITU-R 37-5/5)	議長報告Annex5に添付
306	WG4, WG5	Liaison Statement to ITU-D/ITU-R Joint Group for Resolution 9 On work items during the 2014-2017 Study Period (Copy for information to ITU-R SG1, SG5, SG6 and their relevant working parties on work items pertinent to WTDC Resolution 9)	ITU-D/ITU-R Joint Group for Resolution 9へ送付
307R1	WG5	Draft Revision of Report ITU-R M.2228 Advanced Intelligent Transport System Radiocommunications	SG5へ送付
308R1	WG5	Draft new Recommendation ITU-R M.[V2X] - Radio interface standards of vehicle-to-vehicle and vehicle-to-infrastructure communications for intelligent transport systems applications	SG5へ送付
310R1	WG5	Liaison Statement to External Standard Development Organizations on the Standardization Status of Intelligent Transport System (ITS) Radio Interface Technologies	外部団体へ送付
311	WG5	Reply Liaison Statement to Working Party 1B Proposed Draft New Question concerning Spectrum Management on Intelligent Transport Systems	WP1Bへ送付
312R1	WG5	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[RAIL.LINK] - Systems for [public] mobile communications with train	議長報告Annex 10に添付
313R1	WG5	Working document toward a preliminary new Report ITU-R M.[ITS Usage] - Intelligent transport systems usage Report in ITU Member States	議長報告Annex 9に添付
314	WG2	Draft new Report ITU-R M.[LOCAL_COVERAGE] - Operational guidelines on the deployment of broadband wireless access systems for local coverage operating below 6 GHz	SG5へ上程
315R1	WG3	Liaison Statement to Working Party 5D to be dispatched pending the approval of draft new Report ITU-R M.[PPDR]	WP5Dへ送付
316	WG4	COMPILATION OF TECHNICAL INFORMATION ON TECHNIQUES THAT COULD BE USED IN RLAN DEPLOYMENTS TO FACILITATE SHARING	議長報告Annex 8に添付
317	WG4	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R M.[RLAN MITIGATION] Possible additional mitigation techniques to facilitate sharing between RLAN systems and incumbent services	議長報告Annex 7に添付
318R1	WG3	Elements for consideration in future discussions on Recommendation ITU-R M.2015	議長報告Annex6に添付
319R1	WG5	Draft new Report ITU-R M.[PPDR] "Radiocommunication objectives and requirements for Public Protection and Disaster Relief (PPDR)"	議長報告Annex2に添付

320R2	WG3	Liaison Statement to the CCV to be dispatched pending the approval of draft new Report ITU-R M.[PPDR]	CCVへ送付
318R1	WG3	Elements for consideration in future discussions on Recommendation ITU-R M.2015	議長報告Annex 6に添付
319R1	WG3	DRAFT NEW REPORT ITU-R. M.[PPDR]	SG5へ上程
321R1	WG2	Report on activities of WG 5A-2 systems and standards - Annex 3 to Working Party 5A Chairman's Report	議長報告Annex3に添付
322R1	WG4	DRAFT LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 4A (COPIED FOR INFORMATION WORKING PARTIES 5C AND 5D) WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R SF.[INTERF.AREA]	WP4Aへ送付
322R!	WG4	Liaison statement to Working Party 4A - Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R SF.[INTERF.AREA]	WP4Aに送付
323	WP5A	Update of the summary of the progress of the studies requested in the ITU-R Resolutions (for information)	議長報告Annex2に添付
324	WP5A	Summary of the work conducted by Working Party 5A in support of the studies requested by WRC Resolutions and Recommendations (except those directly related to WRC-15 agenda items)	議長報告Annex2に添付
325	WP5A	Working Party 5A management (Annex 1 to Working Party 5A Chairman's Report)	議長報告Annex1に添付
326	WP5A	Guide to the use of ITU-R texts relating to the land mobile service, including wireless access in the fixed service	議長報告Annex2に添付
327	WG4	Report of the WG 5A-4 activities (interference and sharing)	議長報告Annex3に添付
328	WG5	Meeting Report of Working Group 5A-5 New technologies	議長報告Annex 3に添付
329	WG3	Working Group 5A-3 Meeting Report	議長報告Annex3に添付

ITU-R SG5 WP5A 第15回会合 日本代表団

	氏名	所属
団長	圓谷 茉里	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
	今田 諭志	(株) KDDI 研究所 開発センター
	植田 由美	(国研) 情報通信研究機構
	大槻 信也	NTT アクセスサービスシステム研究所 研究主任
	大原 晃	KDDI (株) 技術開発本部 標準化推進室 標準戦略グループ
	小川 博世	(一社) 電波産業会 研究開発本部 次長
	大村 好則	(一社) 電波産業会 研究開発本部 移動通信グループ 担当部長
	小山 敏	(一社) 電波産業会 研究開発本部 ITS グループ 主任研究員
	川本 真紀夫	三菱電機 (株) 交通システム推進部
	酒井原 邦彦	パナソニック (株) AVC ネットワークス社 技術本部 AVC 技術開発センター
	高山 泰一	(株) 三菱総合研究所 科学・安全政策研究本部 科学技術グループ 研究員
	辻 宏之	(国研) 情報通信研究機構 ワイヤレスネットワーク研究所 宇宙通信システム研究室 主任研究員
	出浦 全	(株) JVC ケンウッド PS セグメント・無線システム事業統括部
	橋本 明	(株) NTT ドコモ 無線標準化推進室長
	松嶋 孝明	(国研) 情報通信研究機構 国際推進部門 標準化推進室
	山崎 高日子	三菱電機 (株) 通信システム事業本部 通信システムエンジニアリングセンター 戦略事業推進グループ 専任
	山本 勝美	(一社) 日本アマチュア無線連盟 会員部国際課長
	山本 武志	(一社) 電波産業会
	吉野 仁	ソフトバンクモバイル (株) 研究本部 担当部長
	渡川 洋人	(株) JVC ケンウッド プロフェッショナルシステムセグメント コミュニケーションズ